

第34回 ASPAC セブ大会

場所：フィリッピン・セブ市 Waterfront Cebu City Hotel

期日：2009年3月12～14日

参加者：登録参加者 426名（日本からの登録参加者 46名、
ゲスト 10名）

行事：



3月12日 ASPAC 役員会

1) One Kiwanis 問題

ASPAC 選出の国際理事の一人である Ed Sedillo(比)が ASPAC は単なる会議体で実体はなく、国際キワニスにも適正な代表が送れていないので、これをより実体あるものに近づけるため、ASPAC の議長、次期議長、副議長の3名を国際理事とするよう改めるべきと主張。これに対し小田国際理事より国際理事の任務は地域カウンセラーの任務もあり、この兼務は現実的でないと反論。意見があれば One Kiwanis 委員会等へ提出することとなった。

2) 次回以降の ASPAC 開催地

2012年にスリランカが立候補、2013年に日本から立候補を申し出た。他に申し出はなく、そのまま総会へ付議されることになった。

3月12日 歓迎晩餐会

セブ市公会堂に於けるフィリッピン民族舞踊による歓迎晩餐会が行われた。

3月13日午前 開会式

フィリッピン共和国アロヨ大統領臨席のもと開会式が行われた。大統領はそのスピーチにおいて、今次経済危機のフィリッピンへの影響は先進諸国ほど大きくないが、それでも各種対策を講じていく、その過程で Kiwanis のような民間団体の力も借りていきたいと述べた。



3月13日午後 14日午前 総会

1) Don Canaday 国際キワニス会長のスピーチ

キワニスの魅力として次の6点をあげ、いずれも大切で、これらを強調することでもって既存会員の維持、新規会員獲得を図ってほしいと述べた。

- i. 新しい友達出来る。
- ii. 楽しいプログラムがある。
- iii. 強い仲間意識が持てる。
- iv. 新しい知識が得られる。
- v. ビジネスにも役立つネットワークが得られる。
- vi. 子ども達の笑顔にふれられる。

2) 国際理事報告

Ed Sedillo, 小田両理事とも役員会での発言と同じ発言をなされた。

3) 役員選挙

次期の会長は規定により現在すでに次期会長に選出されている'Boy' V. Marcos (フィリピン南)、次期会長に現副会長 Bette Eavestaff (NZ・South Pacific) が無投票で選出された。副議長は立候補者がなく、次回役員会へ持ち越された。District を構成していない国の役員会メンバーとして Prita Astuti Baso (インドネシア)、Daya Ratnayake (スリランカ) の2名 (定員は3名, 1名は空席のまま) が無投票で選出された。

4) 次回以降の ASPAC 大会開催地 (国) 決定

- 2010年 台湾
- 2011年 マレーシア
- 2012年 スリランカ
- 2013年 日本
- 2014年 グアム (役員会後立候補)

5) 最高奉仕賞・最高展示賞

- 最高奉仕賞 マレーシア地区の中国四川省地震被害救援
- 最高展示賞 フィリピン南地区の各デビジョンの活動状況写真

3月13日の友好晚餐会

ホテル外の Grand Convention Center で行われ、参加各地区がお国振りのパフォーマンスを披露し盛り上がった。日本地区からは昨年の高松での地区大会での阿波踊りの映像と音響を背景に他国からの参加者も誘い込み盛り上げた。



友好晩餐会での日本地区パフォーマンス

日本地区の展示